

ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

結果報告

No.92

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月6日(土)	試合記号	Ek	回戦	2回戦
種別	成年女子	会場	下呂市交流会館		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
長野県			熊本県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
16	11	前半	24	50	
	5	後半	26		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【戦評】

記載者氏名

中村 敏朗

満を持して登場した熊本県に対して前日茨城県に1点差で勝って意気上がる長野県の好カードは、長野県のスローオフで始まった。熊本県は試合開始とともに、次々と得点を重ねていく。1分の7番勝連の速攻から始まり、勝連のサイドシュート、2番藤井のミドルシュートと続き、6連続得点となる。一方、長野県は前日のスピード豊かな攻めで対応しようとする。熊本県の固いディフェンスに対して、5番多田、4番太田がミドルシュートを放つが、なかなか得点に結びつかない。相手のシュートミスからの速攻で熊本県はさらに得点を加えていくが、相手がディフェンスに戻っていてもポジションチェンジをしながらシュートまで持ち込む動きの良さは目を見張るものがある。また、2番藤井の視野の広さを感じさせるパスワークは見事であり、スピード・フットワーク共に観客を沸かせるに十分であった。それに対して長野県は、7分に7番重信がサイドから回り込んでのミドルシュートで初得点をあげると、タイムをはさんで固かった選手の動きが良くなり、10番濱、5番多田が次々と得点をあげた。残り10分は互いに点の取り合いになったが、特に長野県5番多田のスピードが豊かになり、カットイン・ステップ・ロングなど多彩なシュートを放ち、5得点を奪う活躍をみせた。前半は24対11で熊本がリードして終了。

後半になっても熊本県の攻撃は緩むことなく着実に加点し、開始15分には40点に到達した。それに対し長野県は、熊本県の先を読んだディフェンスに手をやき、得点できない状態が続いたが、4分、11分に5番多田がミドルシュートを決め、一人気を吐いていた。13分に長野県がタイムを取った後には、2番清水がペナルティスローをきっちりと決めた。結果は50対16で熊本県の勝利となった。キーパーを含めた組織的なディフェンスが機能し、レベルの高さを観客に見せてくれた。後半では、熊本県7番勝連の12点を挙げたシュート力が光っていた。また長野県は、やはり5番多田が光り、将来性を感じさせた。